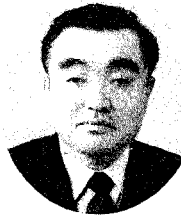


水と緑のやすらぎの中に 活力と潤いのある都市をめざして



都留市長 都倉昭二

平成三年の年頭にあたり、市民の皆様は謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、長年の懸案でありました市立病院・老人保健施設の開院・開所をすることができました。これも一重に市民の皆様のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

今後は、市の医療の中核としての位置づけをさらに明確化するため、広く市民の声を結集し、よりよい医療環境の整備に努力してまいります。

我が国は戦後の経済成長を経て、一人当たりの国民総生産が世界の最高水準に達し、国民の生活についても所得、教育、安全等多くの面で欧米先進国並みの水準に達し

ております。しかし、こうした経済が成長した反面、大都市への一極集中、地価高騰などの弊害をもたらし、大きな社会問題となっております。これらの弊害を是正することが急務となっております。

地方行政におきましては、多極分散型国土形成の推進のなかで、高齢化社会の進展に対応し、地方公共団体が自主的、主体的に、時代の要請に応えた行政の制度等の実現を図り、それぞれの特性を生かした、うるおいと活力に満ちた地域社会を形成するとともに、引き続き行財政改革の推進を図っていかねばなりません。

このような中で、本市では、数次にわたり、事務事業の見直し、行政組織の簡素化、定員管理の適正化を実施し、少ない予算で大きな効果を上げるよう努力しています。昨年の住民基本台帳・印鑑登録及び国民年金事務のオンライン化に続き、本年は国保事務・税務事務のオンライン化に向けた諸準備を進めてまいります。特に窓口事務は情報の正確さと

迅速な処理を要しますので、庁内電算化を基本に置いた中でオンライン化を実施するとともに市民サービスの徹底と事務処理合理化を図り、行財政改革を推進してまいります。

市長就任以来、早くも五年が経過いたしました。市民の声を広く市政に反映するため、各自治会、各種団体から貴重なご意見を承っております。

昨年は、四月に発足いたしました地域コミュニティセンターの運営委員と「豊かなふるさとづくりを目指して」と題して懇談し、地域の根ざしている諸問題、二十一世紀に向けての対応等多くの見・要望をお聞かせいただきました。これらを市政に反映していくとともに、今後も市民の英知を結集し常に新たな視点にたつて創意工夫し、市民に開かれた効率的な行政運営を図ってまいります。

「活力と潤いのあるまち都留市」を目指し渾身の努力を傾注してまいりますので、今まで以上のご支援をお願い申し上げます。

リニアモーターカー

昨年六月リニアモーターカー山梨実験線の概略ルートが境川村を起点に秋山村に至る四十二・八キロメートルと決定し、さらに八月には詳細ルート及び工事概要等が関係市町村に提示されました。十一月二十八日には着形式が本市で挙行され、リニア実験線建設に向けていよいよ本格的に動き出したところであります。

本市においては、小形山地区から朝日曽雌にかけての八・九キロメートルのルートが決定し、なかでも実験センター・乗降場・車両基地・変電所といった実験線の主要施設が設置されることになりました。

山梨県では、この決定をクロスコミュニケーション「二十一世紀の交流拠点やまなし」実現のための大きなステップとして受け止めて、交通アクセス、都市づくり、産業施策等を推進していくとともに、二十一世紀の輸送基盤と位置づけ、この実験線をリニア中央エクスプレスへ発展させるため関係都府県と連携し、早期実現に向け



リニア実験線着手式

て強力な運動を展開しております。本市におきましても、リニアモーターカーが東部・富士北麓地域の一大飛躍の原動力になることを期待し、営業線移行には必ず「駅」の設置ができるよう関係市町村と一体となり、国・県に要望しているところであります。

また、このリニア実験線を契機に都留市の二十一世紀をより深く見据えたなかで、美しい自然との調和を図りながら「住みよい・住みたくなるまち」を目指してまいります。